

たぐれ JAZZ Concert



至宝の
心温まる音
ジャズ・アンサンブル

Take the A train
Misty
Caravan
枯葉
テネシーワルツ 他

香川裕史 Special QUARTET
featuring 山本剛
Guest vocal 豊田チカ

2016 9月3日 (土)

開演 17:00 (開場 16:30)

藤市立 文化ホールくるる

※JR藤駅西口より徒歩3分、線路沿い。駐車場はございません。
未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット/全席自由 2,000円 発売開始/6月26日

チケット取り扱い/くるる窓口・藤市民会館・銀行振込・郵便振替
お問合せ/藤市立文化ホールくるる

TEL/048-446-8311

主催/藤市立文化ホールくるる 共催/藤市・藤市教育委員会



山本剛



香川裕史



豊田チカ



大隅寿男



安保徹

安保徹(tenor sax)
山本剛(piano)
香川裕史(bass)
大隅寿男(drums)
豊田チカ(vocal)

おん

わらびにしか聴けない「音」がある—わら音

美味しい!
旨い!
上手い!

美味い! 旨い! 上手い!

うまいクーポン
あります

藤戸田喫茶飲食組合
PCサイト <http://warabi-t.net>

当日
から
15
分間
10%
オフ!

たぐれ JAZZ Concert

安保徹(あんぼ とおる) テナーサクソ

1963年5月19日青森県十和田市出身。

1990年、本格的にテナーサクソ奏者としてライブスポットでの演奏活動を開始。

1995年、小林陽一(Ds)を中心とした『平成ジャズ維新ジャム』(キングレコード)が結成され、レギュラーメンバーに抜擢される。1997年、右近 茂(Ts)とのダブル・テナーサクソ・コンボを企画、結成。NHK FM「セッション'97」への出演を果たす。

1998年、ピアニスト太田寛二をリーダーとするユニットが結成され、レギュラーメンバーに抜擢される。

1999年、初リーダーアルバム『I Should Care / Live at "BASH!"』をリリース。

2004年、2nd リーダーアルバム『Misty Night』をリリース。

2006年6月、自身、三作品目となる“Ambo Unit,のファーストアルバム『Determination』をリリース。

2008年12月、<I Should Care / Live at "BASH!">で未発表の6曲をプラスし、全15曲収録の2枚組コンプリート盤として再編成したアルバム、『LIVE AT BASH AGAIN!』をリリース。

2010年6月、Ambo Unit 2ndアルバム『AMBO UNIT with BOB MOVER』をリリース。



山本剛(やまもと つよし) ピアノ

1948年3月23日、新潟県佐渡郡相川町に生まれる。小学生の頃からピアノを弾き始め、高校生時代、アート・ブレイキーとジャズ・メッセンジャーズの生演奏の虜となりジャズ・ピアノを独学で習得する。

1967年、日本大学在学中、19才でプロ入り。ミッキー・カーティスのグループを振り出しに英国～欧州各国を楽遊。

1974年、レコード・デビュー(「ミッドナイト・シュガー」TBM)。スケールの大きなブルース・フィーリングとスイングするピアノがファンの注目を集め、続く「ミスティ」(TBM)が大ヒット、以後レコード各社より数多くのリーダー・アルバム、共演アルバムを発表、人気ピアニストの地位を確立する。

1977年、アメリカ、サンフランシスコ、モンテレー・ジャズ・フェスティバル出演。

1979年、スイス、モントルー・ジャズ・フェスティバル出演。大好評を得、その後渡米、1年間ニューヨークで音楽活動を行う。

帰国後は、六本木のライブ・ハウス“ミスティ”でハウス・ピアニストとして活動を再開。笠井紀美子、安田南等ヴォーカリスト達と共演する一方、ディジー・ガレスピー、カーメン・マックレイ、サム・ジョーンズetc. 多数の本場ミュージシャンと共演。その間、英国のバタシー・パーク・ジャズ・フェスティバル、ニューヨーク独立記念日ジャズ・フェスティバル、コンコード・ジャズ・フェスティバル等に出演。

TV番組「リュウズ・バー」の音楽を担当するなど各方面で活躍。



香川裕史(かがわ ひろし) ベース

1962年和歌山県生まれ。千葉大学モダンジャズ研究会でコントラバスを始める。在学中より、ジャズドラマーのジョージ大塚氏に師事し、91～96年、ジョージ大塚グループのメンバーとして活動する。ジャズベースを中村照夫氏に師事する。

これまで、市川秀男(p) 山口真文(ts) 辛島文雄(p) 中本マリ(vo) 向井滋春(tb) 大口純一郎(p) 中村誠一(ts) 大隅寿男(ds) 吉岡秀晃(p) 岡安芳明(g)他、多くの一流ミュージシャン達と共演を重ねる。ノーマン・シモンズ(p)、スコット・ハミルトン(ts)、ウォーレン・バシエ(tp)、ハリー・アレン(ts)等とも共演。

ニューヨーク・ブルーノートや、キルギス共和国、南アフリカ、台湾等、海外での演奏経験もある。

尊敬するミュージシャンは、ルイ・アームストロング(tp)、デューク・エリントン(p)、チャーリー・パーカー(as)、ポール・チェンバース(b)等。

Swingするストレートアヘッドなジャズを信条としている。

現在、山本剛(p)トリオ、天野昇子(vo)グループ、高内春彦(g)トリオや、自己のグループで活躍中。



大隅寿男(おおすみ としお) ドラムス

福井県芦原温泉出身。明治大学政治経済学部卒。アートブレイキー & ジャズメッセンジャーズの来日公演(1961年)を見て感銘を受け、大学でジャズドラムを始める。

1969年、大学卒業後、プロドラマーとして活動を開始。多くのミュージシャンとの共演で好評を得る。

1978年、大隅寿男トリオを結成。リーダーとして活動を開始。国内外のアーティストと共演、アルバムレコーディングに数多く参加する。また作曲家、宇崎竜童のレコーディングにも参加、共演も多い。

2005年1月、スイングジャーナル誌が主催する、日本ジャズ界に最も貢献した人物に贈られる「第30回 南里文雄賞」を受賞する。また、同誌の「日本ジャズメン読者人気投票」では、2006年より4年連続で「ドラム部門」で2位に選出されている。

これまでにポニーキャニオン/M&I MUSICからアルバム「ジュビレーション」(2002年)、「グレートフル」(2003年)、「リジョイス」(2004年)、「オンザロード」(2005年)、「ニューディール」(2007年)を意欲的に発表している。

2009年には、音楽生活40周年を迎えた記念盤として「Walk, Don't Run」を発表。

スイングの明快さ・ビートの切れ味はもちろん、本人の温かい人柄は聴く人に感動を与え、多くの熱い支持を得ている。



豊田チカ(とよだ ちか) ヴォーカル

1961年東京生まれ。十代でピアノ弾き語りを始め、イラストレーター、DJ等を経て1984年ジャズシーンにデビュー。1992年第六回日本ジャズボーカル賞新人賞受賞。1995年渡米。ニューポート(97)、モントレー(2011)ジャズフェスティバル、アポロ劇場のチャリティー、A great night in Harlem(2001,02)などに出演。「チカチャリティー/世界の子どものためのコンサート」を主催し、アジア、アフリカなど五カ国の子ども達へのチャリティーを成功させる。2011年4月より一年間、東日本大震災による被災地支援番組「Journey to the future」のDJを務める。2013年、大橋巨泉氏とのデュオアルバム、CD「Dream～巨泉withチカ」をリリース。2013年度、第29回日本ジャズボーカル賞大賞受賞。2014年12月、「豊田チカライブアットハーモニーホールVol.2」を発表。

